

# 財政構造改革への取組み

2008年夏

- 1 県財政を取り巻く環境
- 2 「財政構造改革」への取組概要
- 3 財政調整的基金,県債残高等の推移
- 4 今後の取組み等  
～ 未来に明るさを見出せる改革へ～

# 1 県財政を取り巻く環境

## (1) 本県の脆弱な財政構造(国依存型の財政構造)

歳入における税収割合の低さ、交付税依存度の高さ

地方税 (決算) 本県16.3% 全国37.9% 本県19.0%(速報)

地方交付税(決算) 本県27.4% 全国17.8% 本県29.9%(速報)

## (2) 地方交付税227億円カット(H16)以降、交付水準の回復なし

年度までの5年間で1100億円を超える甚大な影響

## (3) 公債費の増大

国経済対策への呼応、「県債の償還金」である公債費の増大

## (4) 財政調整的基金の枯渇

560億円から 51億円へ

## (5) 基金に依存しない持続可能な財政構造への転換

聖域なき財政改革への取り組みを加速

# 2 「財政構造改革」への取組概要

財政構造改革基本方針（ ） における収支見通しに対する収支改善目標試算

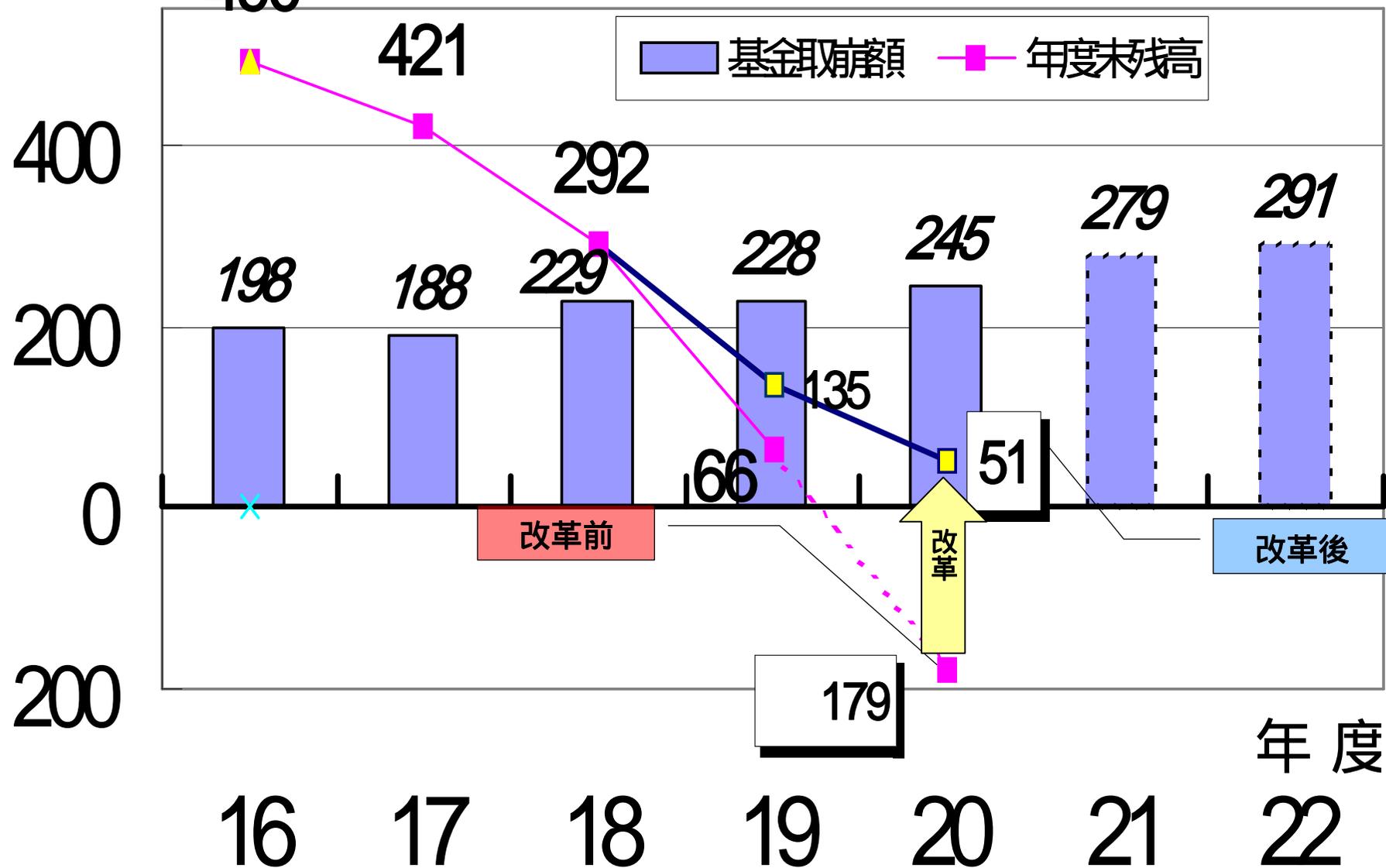
平成19年秋公表数値  
に新しい要素を付加

(単位:億円)

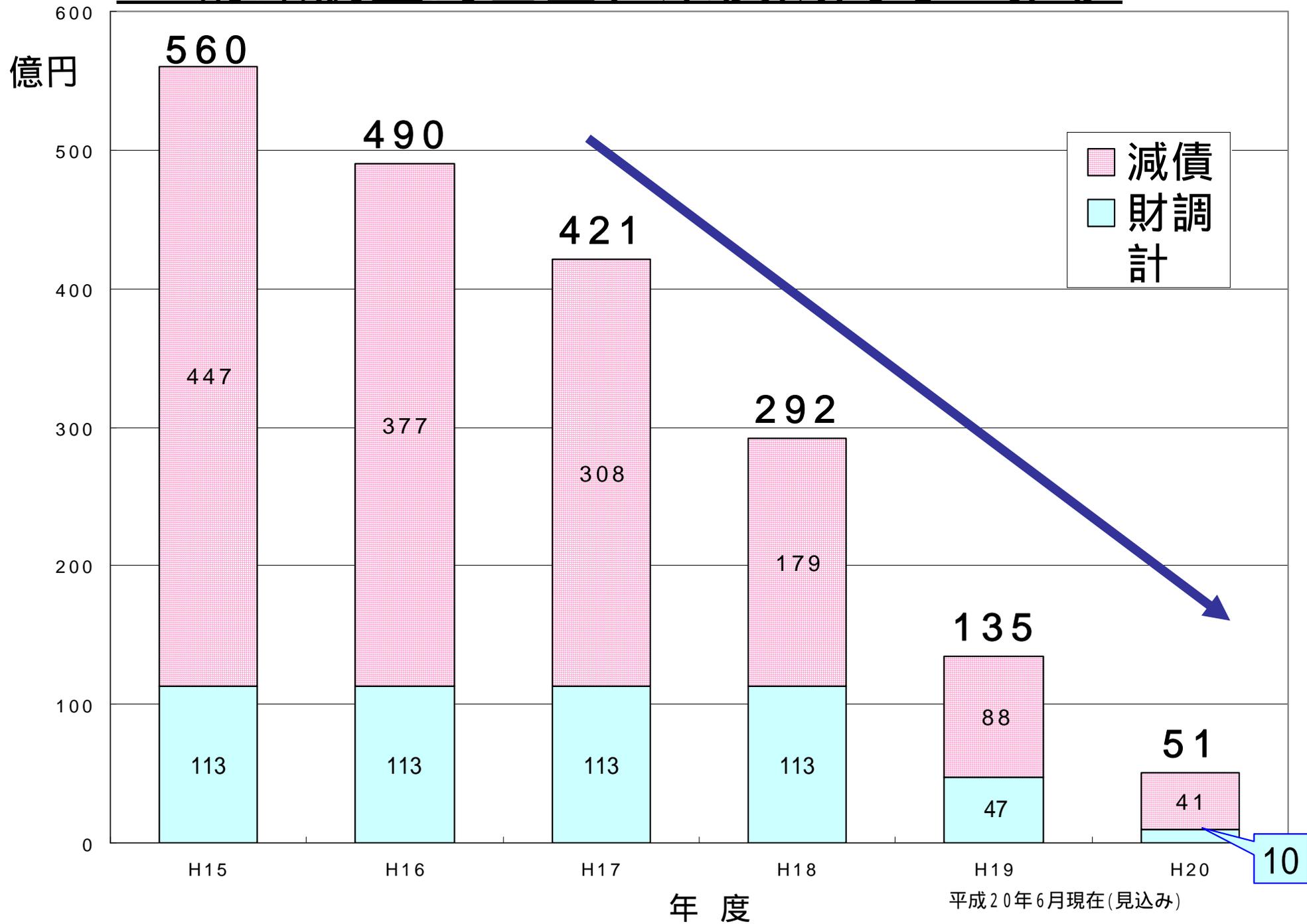
		19 予算	20	21	22	20 予算
改革前の財源不足額 A		Δ 228	Δ 245	Δ 279	Δ 291	260
改革後の財源不足額 B (A + F)			Δ 85	Δ 69	Δ 56	85
財政調整的基金年度末残高 C		現在高 66	86	57	41	51
対前年度減少額 D		年度末見込 126	Δ 40	Δ 29	Δ 16	
年度末積戻目標 E		(60)	(45)	(40)	(40)	
(内 訳)						
収支改善目標額		135	160	210	235	175
内 訳	公共事業 G		12	24	24	12
	政策、その他経費 H		33	47	47	31
	その他の収支改善工夫 I		65	89	114	92
	職員給与臨時的削減 J		50	50	50	40

# 財政調整的基金取崩額と年度末残高の推移

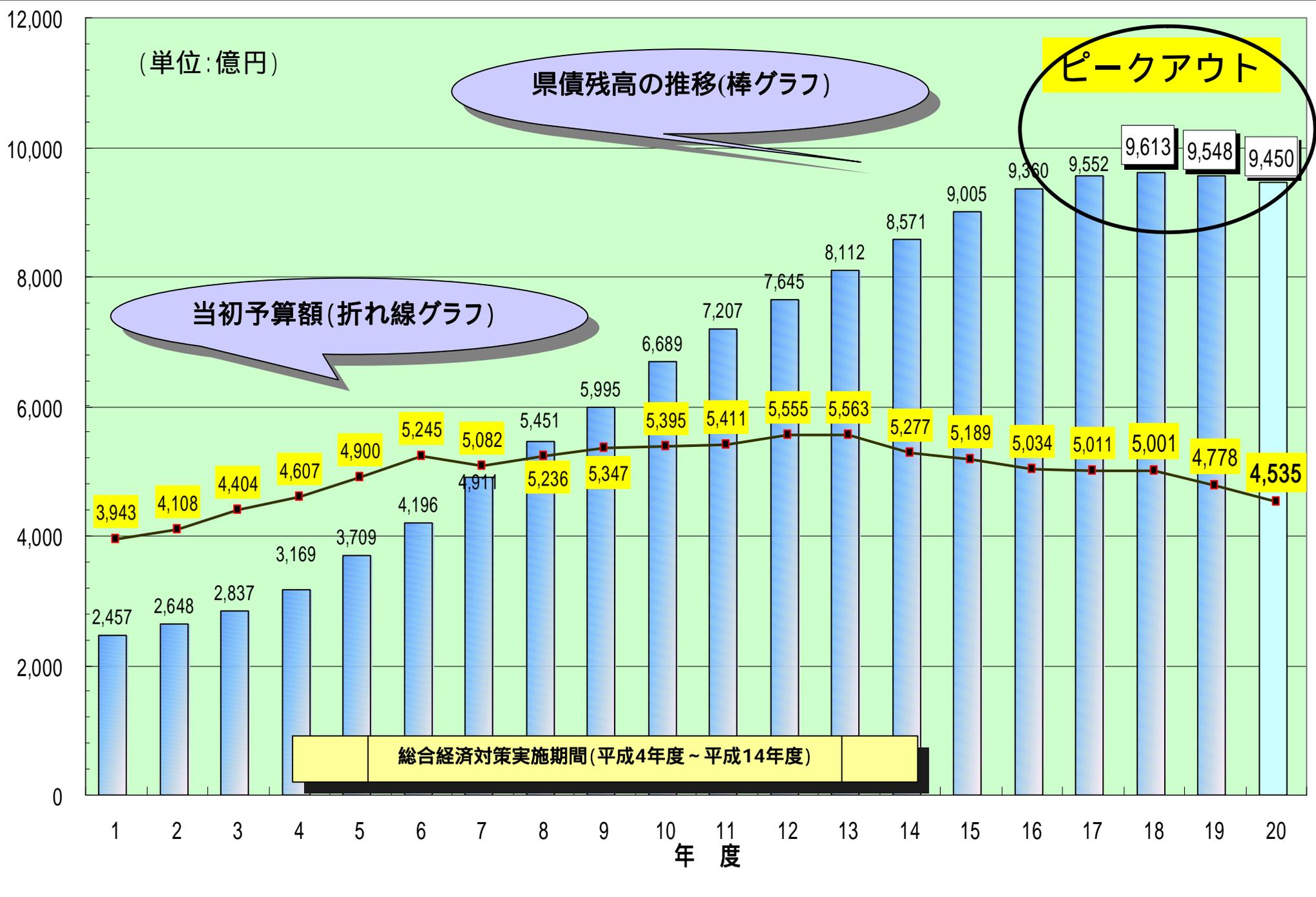
(単位:億円) 490



### 3 財政調整的基金、県債残高等の推移



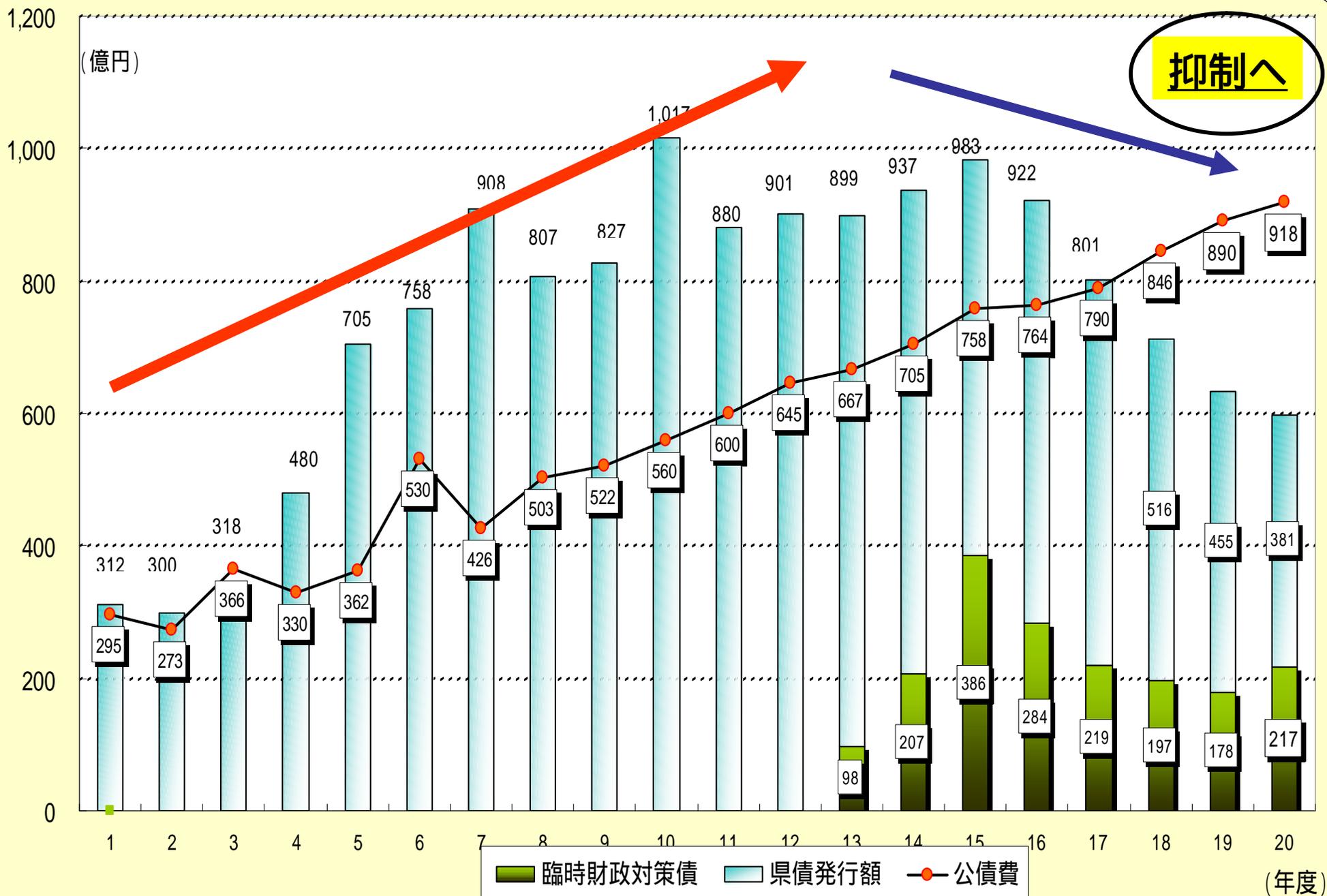
# 県債残高と当初予算額の推移について



平成19年度は6月現計数値、平成20年度は当初予算ベースでの見込み

# 県債の発行状況と公債費の状況

・20年度公債費予算は、歳出予算の約2割の918億円

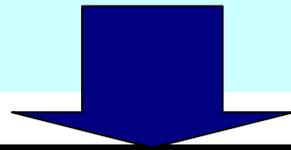


## 4 今後の取り組み等

20年度地方交付税額（8月上旬）

20年度県税収入見込み

社会保障経費（扶助費）の増高傾向等



「財源不足見込み」と「収支改善目標試算」の算定、

さらには、「21年度予算編成方針」の策定へ

職員一丸となり、「知恵と工夫」を活かし、  
既成概念にとらわれない「聖域なき改革」を。

徳島県の未来創造に繋がる財政改革へ